



2021. 12  
尚徳福祉会  
おぐら保育園

本格的な寒さに冬の訪れを感じる季節になりました。園庭やお散歩に出掛ければ、子どもたちの吐く白い息が、ピリッとした冬の空気に吸い込まれていきます。

さて、今年も残り僅かとなりました。一年の締めくくりの月だからでしょうか、いつにも増して子どもたちの日々の成長を感じ取っている今日この頃です。子どもたちと一緒に、何かやり直したことはないか振り返ってみようと思います。



## スイートポテト作り

芋掘りでとったサツマイモを使って、みんなでスイートポテトを作りました

まずは袋に入っているサツマイモをつぶす工程からスタート！

手のひらで握ってみたり、テーブルに置いて上から押しつぶしたりと、子どもたち一人一人が試行錯誤して工夫していました。

自分の好きなように形を作ると満足げになりながらも「どんな感じになるんだろうね～」と、お友だちとワクワクしながら話す姿も♪

いざ、出来立てが登場すると「焼いても崩れないんだね！」との驚きの声がありました。

## 楽器遊び

タンバリンやカスタネット、鈴やトライアングルなど、様々な楽器を用意してみると興味新々♪

グループ毎にそれぞれの楽器を回し、みんなが全種類の楽器に触れるようにしました。

楽器の扱い方についてお話しすると、その後もお友だち同士で「こう持つんだよねー」と確認する姿も見られ、なかには「こうすると面白い音がするよ！」と発見したことを教える姿も見られました。「何の曲がいい？」と聞くと「きらきら星！」「アナ雪！」「となりのトトロ！」との沢山のリクエストが上がりました。保育者がピアノを弾き始めると子どもたちはノリノリで音楽に合わせてリズムを刻み、楽しんでいました。



## 発表会

緊張の面持ちで当日を迎えた初めての発表会、なかには少しばかり涙ぐむ子もいましたが、ステージに立つ頃には自分で気持ちを切り替えるたくましい姿に成長を感じました。

発表会が日に日に近付いてくると、「あと〇回寝たら発表会なんだよね！」「お父さんお母さんが来ると恥ずかしくて緊張しちゃうよ～」など、お友だちとの間で盛り上がりは当日を楽しみにして、日々練習に励んでいました。友だちと一緒に役に足りて踊ってセリフを言ったり、自分で作った楽器を使って掛け声とともに演奏してみたり…。「楽しい」気持ちを大切に行ってきたことで、クラス全体での活動を機に友だちとの関わりなども広がり、また一つ自信をつけたように感じます。保護者の皆様にも成長した姿を見て頂けたかと思えます。この度は子どもたちの姿を温かく見守って下さりありがとうございました。

